



Japan Venture Capital Association

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.27

2011年10月11日発行

JVCA 第9回 定時会員総会開催

去る7月14日JVCAの第9回定時会員総会が東京の八重洲富士屋ホテルで開催されました。

会員総会終了後の理事会にて第10期の役員体制が決定し、第5代会長に安達前副会長が選任されました。続いて勉強会が日本ベンチャー学会制度委員会会長 松田 修一氏と経済産業省経済産業政策局新規産業室企画官 柿原 宏充氏を講師に迎えて開催されました。懇親会には外部支援機関、報道関係者を含め総勢143名が集い、盛会のうちに幕を閉じました。

会員総会

呉 雅俊会長（当時）を議長に議事が進行され、議決権を有する会員総数49名（その議決権個数49個）のうち当日の出席会員数（議決権行使書含む）は49名（同49個）でした。

細川 信義監事による監査結果の適正意見報告の後決議事項に入り、すべて原案通り承認可決されました。

- 第1号議案 第9期貸借対照表承認の件
- 第2号議案 第9期損益計算書承認の件
- 第3号議案 第9期剰余金処分案承認の件
- 第4号議案 定款一部変更の件
- 第5号議案 理事8名選任の件
- 第6号議案 監事1名選任の件

勉強会

VC会員・賛助会員あわせて89名、官公庁・報道関係者等54名が出席し、勉強会が開催されました。テーマは、日本ベンチャー学会制度委員会松田会長による「コア技術をベースにしたベンチャーの輩出に関する提言」と経済産業省新規産業室柿原企画官による「経済再生に向けたVB・VCへの期待」の2部構成で講演を頂きました。

■勉強会の模様



懇親会

会員各社から89名の出席の他、ご来賓、経済産業省や報道関係者など90名の合計143名の方にご参加

頂き盛大に行われ、良い交流の機会となりました。

■安達新会長



第10期役員体制

定時会員総会後に開催された理事会において第10期代表理事に安達 俊久（伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社代表取締役）が選任され、第5代JVCA会長に就任し、従来から掲げている投資環境の整備に加え、①海外VC協会との交流促進 ②国内関係団体との連携促進（CVC業界、PE業界等）等を今期の主要方針としていくことを表明致しました。



後列（左より）上田理事、齋藤理事、橋本常務理事（新任）、
本山理事（新任）、安永理事、瀧口監事、大泉理事（新任）、
神埜理事（新任）、水谷理事（新任）
前列（左より）市川専務理事、尾崎副会長、安達会長、呉副会長、
松本理事、細川監事

(企画部) 「日米イノベーション対話」への参加

去る2月23～24日にかけて、米国シリコンバレーのスタンフォード大学において、日米におけるトップレベルのVC、起業家、その他ビジネスリーダーや専門家が集まり、日米間におけるイノベーションと起業の促進をテーマとした官民による「日米イノベーション対話」が行われました。特に、クリーンテック分野をはじめとするベンチャー企業が、いかにして経済成長に貢献できるのか、また日米間の協力によって得られる機会等について活発な議論が行われ、JVCAからは、日本側民間有識者として安達副会長（当時）、齋藤理事、安永理事の3名が日本のVC代表として出席しました。

主催：経済産業省、米商務省、JETRO

協力：スタンフォード大学

テーマ：Promoting Innovation and Entrepreneurship: Opportunities for U.S.-Japan Cooperation
～イノベーションと起業の促進；日米協力に向けた好機

主要参加者：増子経済産業委員会筆頭理事・前経済産業副大臣、ルース駐日大使、ホームッツ国務次官、ウィリアム・ミラー スタンフォード大学名誉教授

プログラム：

1. ベンチャー企業と起業を通じた経済促進
（ラウンドテーブル形式／モデレータ：アマコスト元駐日大使）

■対話の様子

■ルース駐日大使



2. ベンチャー企業と雇用の拡大～なぜ新たな高成長企業の出現が雇用創出に重要か；成功するベンチャー企業の特徴～

（セッション形式）

3. 好機としての日本～日本の潜在的チャンスのある分野：なぜVCは中国、インド、イスラエル等新興市場へ投資するのか；高成長企業創出促進とVCを呼び込むメカニズム～

（セッション形式）

4. イノベーションと起業に関するシリコンバレーの視点（基調講演）

5. スマートグリッドが切り開く協力のチャンス（パネルディスカッション形式）



(会計委員会) 国際財務報告基準 (IFRS) 導入に向けて

会計委員会では、国際財務報告基準 (IFRS) 導入に関連する勉強会を新日本監査法人のご厚意により開催してきましたが、実務化への準備・対応に向け、2011年9月にワーキンググループを発足しました。ファンド会計、ファンドのLP投資家への開示に向けた、公正価値

導入への準備、International PE&VC Valuation Guidelines (IPEVガイドライン) の支持への検討、IFRS導入に向けた国内会計基準 (金融商品会計基準、有限責任組合法会計基準) との整合性・調整に向け作業を進める予定です。

(税務委員会) スtockオプション制度に税制支援措置

現在、経済産業省主導の元で種類株式の活用促進に向けた研究会が進められており、ストックオプション税制についての議論もその検討課題の一つとして含まれています。ストックオプション税制の権利行使価格にかかる税制適格要件の記載のうち「1株当たり価格」が税務上どの点を指すのかが明示されておらず、普通株式と優先株式の価格差についての記載がなく

税法上異なる株価の存在が明記されていないこととなるため、税務リスクが懸案されるところとしてストックオプション制度の活用の阻害要因になっているとするものです。

現在、経済産業省では国税庁と協議中であり、今後JVCAに対し何らかの協力要請があった際には、意見取り纏め等、必要に応じて対応していく予定です。

(法務委員会) 会社法見直しに対する意見書を法務省に提出

JVCAでは現在「法制審議会・会社法制部会」で継続審議されている会社法の見直しについて、これまでに過去5回法務委員会を開催し議論を重ねてきましたが、去る3月の法務委員会におきまして有志による意見書作成のためのワーキンググループを結成し、そこでの論点整理を経てJVCA会員から意見を集約し、7月21日に法務省民事局参事官室宛に

意見書を提出しました。この意見書の骨子はベンチャー目線に立った法改正を望むというものです。詳細はJVCAのHPに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

今後引き続き中間試案に対するパブコメの提出に向けて法務委員会で取上げてまいります。

(法務委員会) 「投資事業有限責任組合モデル契約」改訂について

平成16年に制定されました投資事業有限責任組合法のモデル契約が経済産業省によりこのたび改訂されました。この背景は金商法等関連法令の改訂や海外投資家課税対応等を考慮したもので、主な変更点は1) 追加加入組合員について 2) 出資約束期間の中断と早期終了 3) 借入れ及び担保権の設定 4) 投資からの免除・除外と損益 5) 組合

財産の分配・成功報酬に係るWater fallとクローバック 6) 税制特例 等です。

なおモデル契約を実際に利用する際は今回改訂された事項を全て盛り込むものというのではなく、個別ファンド毎の目的等勘案し、利用する当事者の判断で取捨選択することが可能とされています。

(調査・研究委員会)

1. ベンチャーキャピタリスト研修（春季集中コース）実施

JVCAでは2003年度から比較的経験の浅いVCの投資担当者を主な対象としたキャピタリスト研修を実施しており、今年も合計18名の受講者に参加頂き下記の日程で開催致しました。今年は事業法人や弁護士の方等

VC会員以外の参加者も多く業界を越えたネットワーク作りが出来、積極的な意見交換の場になりました。また現在研修内容の見直しに着手しており、より有益な研修を企画しておりますので今後もご期待下さい。

	テーマ	講師	実施日
第1回	ベンチャーキャピタルの仕組みとベンチャーファイナンス	秦 信行(國學院大學) 樋原伸彦(立命館大学)	6月2日 午前
第2回	デューディリジェンス&バリュエーション ①投資機会の検討	松澤芳邦 (三菱UFJキャピタル)	6月2日 午後
第3回	デューディリジェンス&バリュエーション ②バリュエーション	有本雄観(日本アジア投資) 阿部夏朗(Y's&partners)	6月3日 午前
第4回	デューディリジェンス&バリュエーション ③総合(パイアウト)	玉澤康一 (大和企業投資)	6月3日 午後
第5回	ディールストラクチャー	池上重輔(早稲田大学) 後藤勝也(AZX Professionals Group)	6月4日 午前
第6回	付加価値サービス	近藤直樹 (アント・キャピタル・パートナーズ*)	6月4日 午後
第7回	投資回収(Exit) ①IPO	仮屋蘭聡一 (グローバル・キャピタル・パートナーズ*)	6月5日 午前
第8回	投資回収(Exit) ②Trade Sales	深沢英昭 (東京海上キャピタル)	6月5日 午後

2. ベンチャーキャピタリスト検定の実施

本検定は、VCの投資業務担当者としてのスキルレベルのチェックを主眼に置く目的で2004年から実施しているもので、今年も6月11日(土)に17名の参加を頂き実施致しました。出題範囲は「ファインディング&インキュベート」、「デューディリジェン

ス&バリュエーション」、「ディールストラクチャリング」、「ハンズオン&モニタリング」、「Exit」という一連の投資プロセスを遂行するにあたって必須となる事項をカバーしておりますので、是非自己研鑽の一助にご活用下さい。

3. 世界の新興市場に関する勉強会実施

調査・研究委員会では世界の新興市場の調査研究をテーマに、韓国、台湾、香港、シンガポールなどアジアを中心に勉強会を開催して参りました。今年1月以降実施の勉強会は以下の通りです。

開催日	テーマ	講師
2月5日	2010年のIPOマーケットを振り返って	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
3月23日	ベンチャーキャピタリストのためのベトナム入門	日本経済研究所
4月6日	韓国IPO市場：外国企業上場の現状と今後の展望	大宇証券
5月17日	最近の香港市場：香港を活用とした事業戦略	香港貿易発展局
6月14日	米国におけるIPOエグジットの動向と証券上場の基本	Popes Gray外国法律事務所
7月21日	韓国 KRXセミナー	KRXコスダック市場本部
9月27日	ベトナム株式市場とプレIPO投資	K2

(企画部) 「平成22年度アジア各国のベンチャー企業投資事例調査」報告書が完成

2010年の7月に経済産業省から受託しました「平成22年度アジア各国のベンチャー企業投資事例調査」事業がこのたび無事終了致しました。本調査事業は昨年の11月に開催しました「Asian VC Network Forum 2010」に参加しましたアジア各国のVC協会から頂いたデー

タ等やJVCAが欧州やアジア各国に訪問して取材した情報を元にみずほ情報総研が分析を行い取り纏めたものです。なお本報告書はJVCAのHP、経済産業省のHPに掲載されておりますので是非ご覧下さい。

(企画部) Corporate Venture Capital (CVC) 業界への取組み

大手事業法人が行っている投資活動、所謂CVCについては、ここ数年来JVCAから積極的に一緒に活動していこうと参加の声かけを行ってまいりました。とりわけ昨年11月にJVCAが主催しました「Asian VC Network Forum 2010」に複数のCVCの方々に参加して頂いたのを機に双方の交流促進が進み、VC会員や賛助会員として

JVCAの活動に参加して頂けるCVCの方も増えてまいりました。企画部では引続きCVC業界の方々との交流促進を今期の大きなテーマに掲げ、懇談会等の開催を初めとして積極的に取組んでまいります。

(企画部) 「スタンフォード大学－SPRIEセミナー」の開催

5月12日に第68回勉強会としてスタンフォード大学のマーティン・ハミグ教授による「オープン・イノベーション、及び世界のVC及びCVCの動向分析」セミナーを開催致しました。当日はJVCA会員以外にCVC関係者、LP研

究会、ベンチャー学会他61名と多くの方々の参加を頂き、その後に開催しましたネットワーキングレセプションも大いに盛り上がった大変盛況なセミナーとなりました。

(企画部) 「Good morning Session with Amazon」

7月5日の早朝7:30に「グッドモーニングセッション」と題し、来日されたAmazonの最高技術責任者であるヴァーナー・ボーガス氏と日本のキャピタリストとのセッションをAmazon Japanの協力の元、開催しました。

■ ヴァーナー・ボーガス氏



(企画部) 米国VC協会 (NVCA) との協力関係構築の件

前述の「日米イノベーション対話」では、日米間の協力事項の一つとして、JVCAと米国VC協会 (NVCA) 間の関係構築についても議論され、正式な協力関係がスタートすることとなりました。業界に関わる様々な側面における協力等、従来より一層の交流と関係構築を図っていく所存です。

(海外交流) 韓国VC協会 (KVCA) からの震災支援申し入れの件

この度の東北東日本大震災にあたり、韓国協会 (KVCA) より日本及び日本の中小企業・ベンチャー企業に対する物資支援の申出を頂きました。今後も友好的な関係を構築していきたいと思っております。

(企画部) 2011年2月～3月「2010年度VCトップ懇談会開催」

JVCAでは、昨年10月に「中国・四国地区VCトップ懇談会」（詳細はNo. 26のニュースレターをご参照）を開催したのに続き、主に東京地区の会員を対象にした「2010年度VCトップ懇談会」を2/1～2/17にかけて開催致しました。

■開催状況

	開催日時	会員出席人数	理事出席人数
第1回（VC会員）	2月1日	6名	4名
第2回（VC会員）	2月3日	6名	5名
第3回（VC会員）	2月8日	3名	4名
第4回（賛助会員）	2月10日	7名	4名
第5回（VC会員）	2月15日	7名	5名
第6回（賛助会員）	2月17日	11名	4名
合計		40名	延べ26名

「VCトップ懇談会」は、JVCA理事とVC会員・賛助会員各社のトップ（代表者）が、年に一度、懇談を行う機会です。今回はVC会員の21社（名）に加え昨年に引続き賛助会員の方からも19社（名）の方にご参加を頂きました。

冒頭では、呉会長（当時）及び企画部よりJVCAの過去1年間の活動状況についての報告があり、その後各社より、投資進捗やファンド運営等、最近の活動状況の報告が行われました。ディスカッションでは主に、政府の「新成長戦略」の業界への影響や東証の新改革案の方向性、中小機構のファンド出資制度への要望、投資先のアジア展開の支援策、農業ファンド等の新たな取り組み事例、VC（CVC）業界間のネットワーク構築の必要性、長期的視野に立った起業家教育の重要性、個人投資家に対する制度優遇策への要望、IFRSへの対応課題、業界のプラットフォームとしてのJVCAの重要性、等の意見があり、活発な議論が行われました。

厳しい経営環境が長引く中、各社が抱える経営上の課題、取組状況などについて様々な観点で各社の代表者から積極的な意見交換が行われ、業界

における共通の課題・問題への意識を高め合う良い機会となりました。

JVCAとしてはこのような会員との情報交換・交流の場を継続的に実施してまいります。

■懇談会の様子



◆JVCA定例勉強会のご案内

原則として月1回、VC会員・賛助会員を対象とした勉強会を開催しております。
直近で開催された定例勉強会は以下の通りです。

第64回（1月27日開催）定例勉強会

テーマ GP調査 ～PE/VC投資が与える経済的インパクト
講師 アストリアコンサルティング株式会社
代表取締役 森本 晴久 氏

第65回（3月8日開催）定例勉強会

テーマ マザーズの活性化に向けた東証の取組みについて
講師 株式会社東京証券取引所
上場部 企画担当課長 林 謙太郎 氏

第66回（3月16日開催）定例勉強会

テーマ VEC投資動向調査 ～2010年ベンチャービジネスの回顧と展望
講師 財団法人ベンチャーエンタープライズセンター
事務局長 黒田 啓征 氏

第67回（4月25日開催）定例勉強会

テーマ 中小企業の国際化 ～中小機構の海外展開支援について
講師 独立行政法人中小企業基盤整備機構
国際化支援センター 審議役 渡部 寿彦 氏

第68回（5月12日開催）定例勉強会

テーマ スタンフォード大学 - SPRIEセミナー
「オープン・イノベーション、及び、世界のVC及びCVCの動向分析」
講師 スタンフォード大学 マーティン・ハミグ教授（博士）

第69回（6月23日開催）定例勉強会

テーマ 東証のIPO拡大に向けた取組み
講師 株式会社東京証券取引所
上場推進部 課長 潮田 一成 氏
上場推進部 課長 矢口 慎一 氏

JVCA会員総会・勉強会（7月14日開催）

テーマ コア技術をベースにした成長ベンチャーの輩出に関する提言
講師 日本ベンチャー学会
制度委員会 会長 松田 修一 氏

テーマ 経済再生に向けたV B・V Cへの期待
講師 経済産業省
経済産業政策局 新規産業室 企画官 柿原 宏充 氏

第70回（9月22日開催）定例勉強会

テーマ 不正事例分析～不正を見抜くポイント
講師 有限責任監査法人トーマツ
マネージャー 公認会計士 萬 政広 氏
マネージャー 公認会計士 伊藤 裕之 氏

第71回（9月29日開催）定例勉強会

テーマ カナダ・ベンチャー紹介セミナー
講師 モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）

JVCAからのお知らせ

1. 会員の入会

3月1日付	賛助会員	株式会社キャピタルバンク
3月1日付	賛助会員	株式会社リスクマネジメントブレイン
3月1日付	賛助会員	監査法人A&Aパートナーズ
4月26日付	賛助会員	株式会社電通デジタル・ホールディングス
6月7日付	VC会員	NTTインベストメント・パートナーズ株式会社（CVC会員）
	賛助会員	株式会社SRIブレイン
8月23日付	賛助会員	JSR株式会社
		他に個人1名（賛助会員）

現状の会員数 VC会員52社 賛助会員67社（名） 合計119社（名）

2. 正副委員長会議の開催スケジュールの変更

第10期（今期）より、正副委員長会議の開催スケジュールを変更致します。従来の7月・10月・1月・4月の第3火曜日から、7月・11月・3月の第4火曜日の開催となります。

正副委員長会社におかれましてはご留意下さいますようお願い致します。

3. 新事務所のご案内

〒169-0074
東京都新宿区北新宿2-21-1
新宿フロントタワー 4階
TEL：03-5937-0300 FAX：03-5937-0301

- 東京メトロ丸の内線 西新宿駅
1番出口より徒歩4分
- 東京メトロ丸の内線 都営大江戸線中野坂上駅
A1番出口より徒歩8分
- JR新宿駅（西口） 徒歩15分



日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.27

■発行日 平成23年10月11日

■発行 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

■編集 JVCA企画部／事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1
新宿フロントタワー

TEL：03-5937-0300 FAX：03-5937-0301

E-mail：jimukyoku@jvca.jp URL：http://www.jvca.jp/